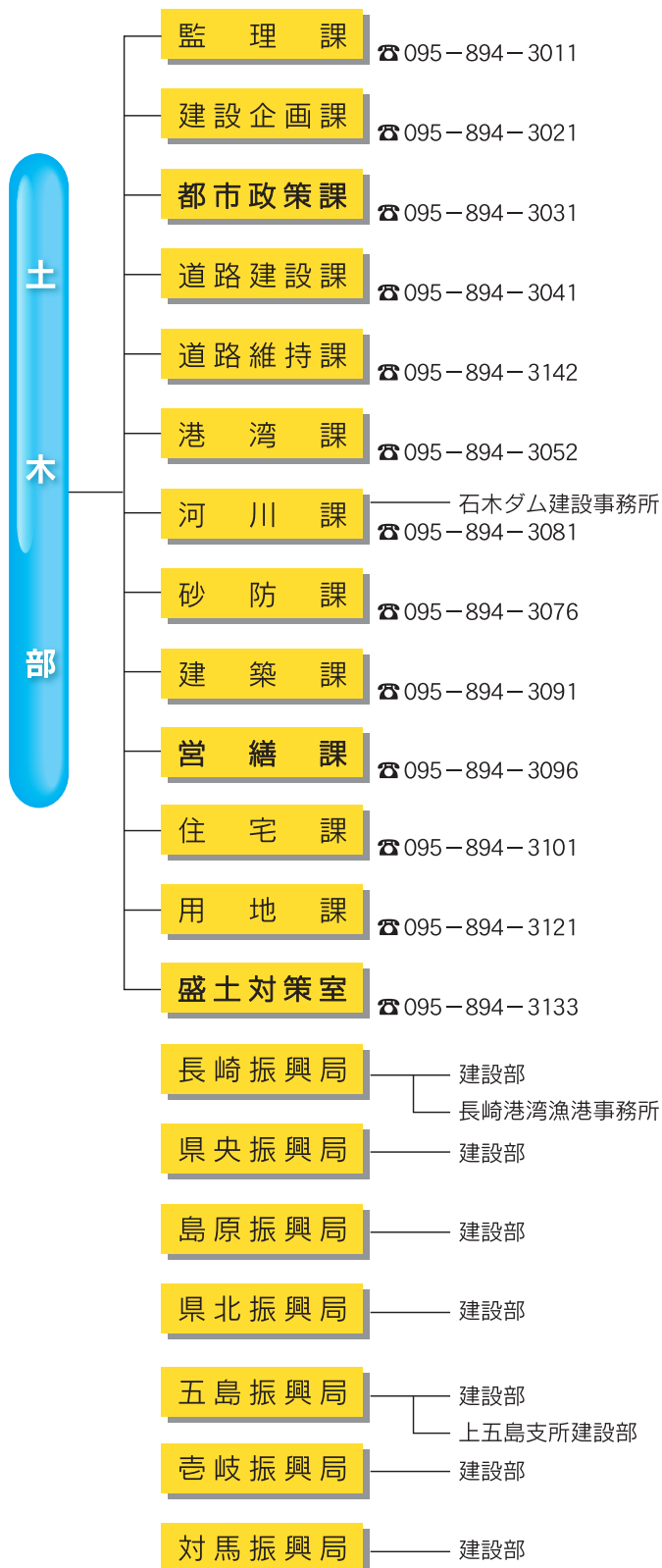


資 料

1 県土木部の組織

～組織及び関係職員現員表～

(1) 土木部機構図



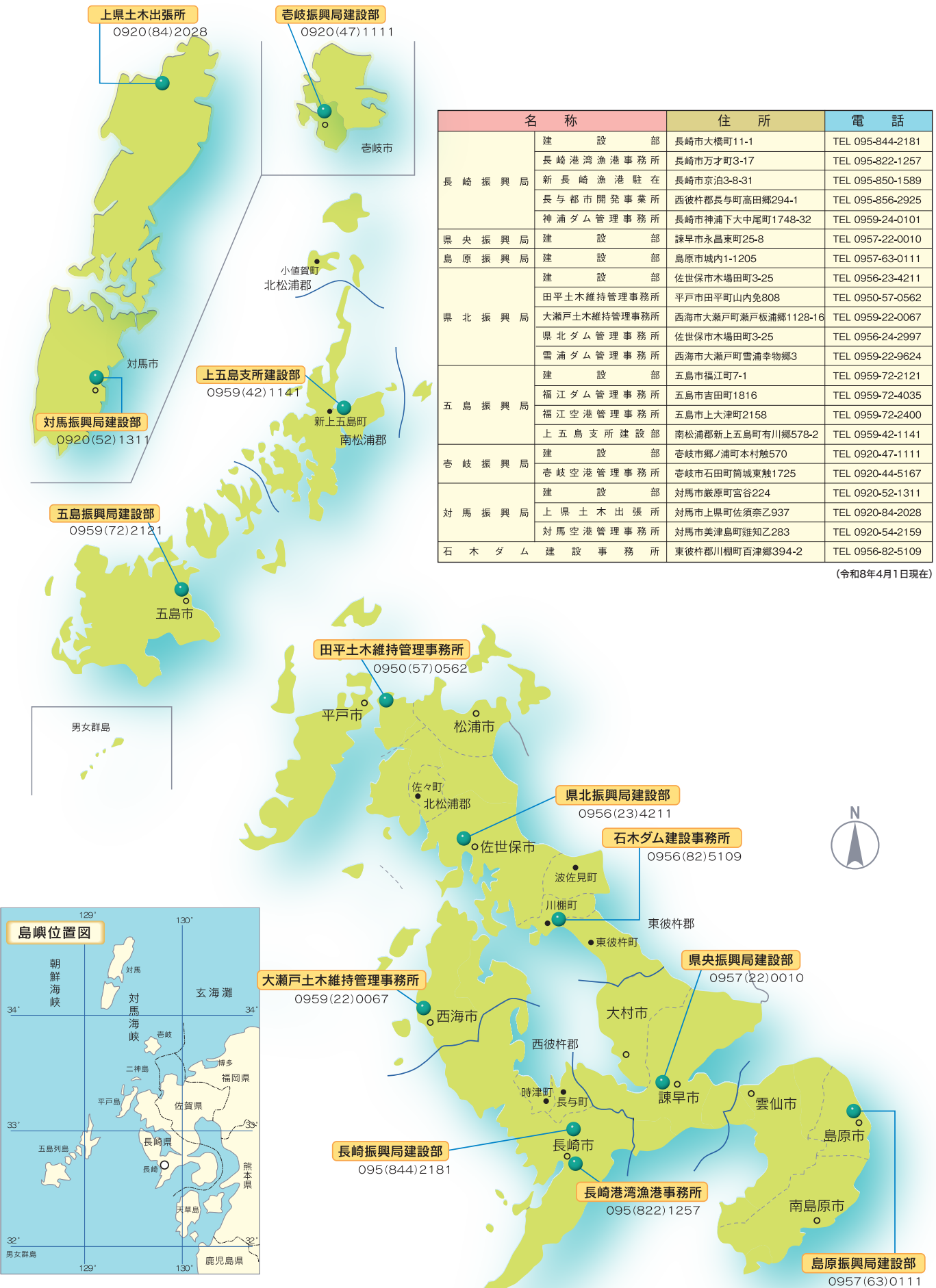
(2) 土木部関係職員現員表

(令和8年4月1日現在)

所 属	事務職員	技術職員	現業職員	合 計
監 理 課	26	7	0	33
建 設 企 画 課	4	23	0	27
都 市 政 策 課	8	16	0	24
道 路 建 設 課	6	15	0	21
道 路 維 持 課	3	11	0	14
港 湾 課	12	20	0	32
河 川 課	13	14	0	27
砂 防 課	0	8	0	8
建 築 課	7	18	0	25
営 繕 課	0	26	0	26
住 宅 課	6	11	0	17
用 地 課	13	0	0	13
盛 土 対 策 室	1	9	0	10
本 庁 計	99	178	0	277
長崎振興局建設部	25	55	3	83
長崎振興局長崎港湾漁港事務所	27	20	0	47
県央振興局建設部	14	39	2	55
島原振興局建設部	20	34	3	57
県北振興局建設部	37	97	4	138
五島振興局建設部	15	19	2	36
上五島支所建設部	7	16	1	24
杵岐振興局建設部	11	14	1	26
対馬振興局建設部	17	28	3	48
石木ダム建設事務所	5	6	0	11
地 方 機 関 計	178	328	19	525
合 計	277	506	19	802

※併任職員を除く

2 地方機関管内図



3 令和8年度県土木部予算の概要

1 令和8年度土木部関係予算の概要

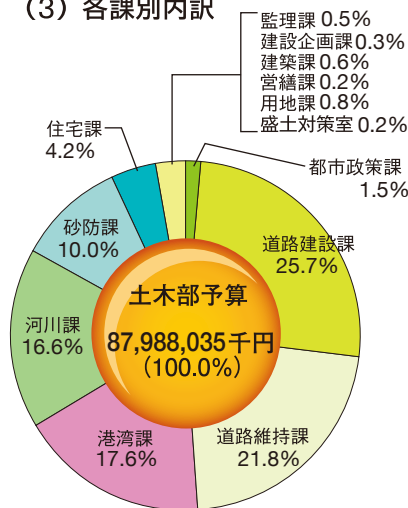
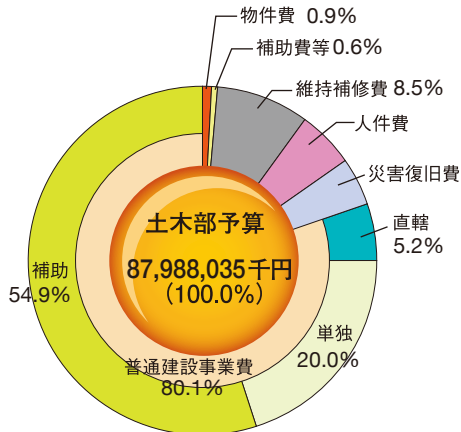
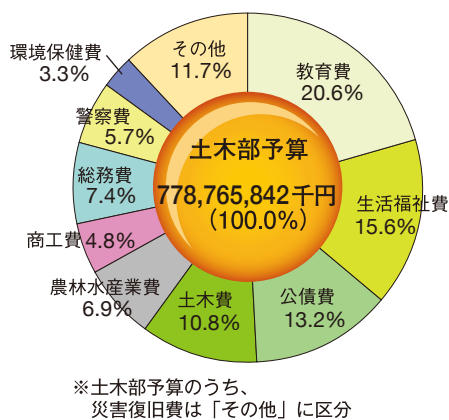
(単位：千円、%)

区 分	令和7年度予算額		令和8年度予算額		比 較	
	事業費(A)	構成比	事業費(B)	構成比	増減額【(B)-(A)】	増減率(B)/(A)
2 総務費	3,361,249	3.2	0	0.0	△ 3,361,249	0.0
2 企画費	3,361,249	3.2	0	0.0	△ 3,361,249	0.0
6 交通政策費	3,361,249	3.2	0	0.0	△ 3,361,249	0.0
8 土木費	89,265,380	85.4	83,906,454	91.9	△ 5,358,926	94.0
1 土木管理費	2,157,231	2.1	2,181,997	2.4	24,766	101.1
1 土木総務費	869,133	0.8	883,175	1.0	14,042	101.6
2 用地総務費	646,315	0.6	647,106	0.7	791	100.1
3 建築指導費	641,783	0.6	651,716	0.7	9,933	101.5
2 道路橋りょう費	41,201,489	39.4	40,186,397	44.0	△ 1,015,092	97.5
1 道路橋りょう総務費	654,295	0.6	700,285	0.8	45,990	107.0
2 道路維持費	11,405,093	10.9	12,078,468	13.2	673,375	105.9
3 道路舗装費	3,717,206	3.6	3,906,252	4.3	189,046	105.1
4 道路改良費	22,907,845	21.9	20,601,260	22.6	△ 2,306,585	89.9
5 橋りょう費	2,517,050	2.4	2,900,132	3.2	383,082	115.2
3 河川海岸費	25,346,645	24.3	21,643,642	23.7	△ 3,703,003	85.4
1 河川海岸総務費	679,308	0.7	663,459	0.7	△ 15,849	97.7
2 河川費	9,529,678	9.1	6,860,643	7.5	△ 2,669,035	72.0
3 河川開発費	3,338,707	3.2	3,628,375	4.0	289,668	108.7
4 砂防費	9,873,326	9.4	8,862,385	9.7	△ 1,010,941	89.8
5 海岸費	1,925,626	1.8	1,628,780	1.8	△ 296,846	84.6
4 港湾空港費	13,610,696	13.0	13,283,684	14.5	△ 327,012	97.6
1 港湾空港総務費	616,312	0.6	617,784	0.7	1,472	100.2
2 港湾費	9,040,939	8.7	10,740,737	11.8	1,699,798	118.8
3 空港費	3,953,445	3.8	1,925,163	2.1	△ 2,028,282	48.7
5 都市計画費	3,427,652	3.3	2,889,430	3.2	△ 538,222	84.3
1 都市計画総務費	365,729	0.4	361,458	0.4	△ 4,271	98.8
2 都市改造費	2,432,281	2.3	2,100,175	2.3	△ 332,106	86.3
3 公園費	629,642	0.6	427,797	0.5	△ 201,845	67.9
6 住宅費	3,521,667	3.4	3,721,304	4.1	199,637	105.7
1 住宅総務費	133,172	0.1	129,374	0.1	△ 3,798	97.1
2 住宅整備費	3,388,495	3.2	3,591,930	3.9	203,435	106.0
11 災害復旧費	4,229,762	4.0	4,081,581	4.5	△ 148,181	96.5
2 公共土木施設災害復旧費	4,229,762	4.0	4,081,581	4.5	△ 148,181	96.5
1 河川等災害復旧費	3,629,762	3.5	3,481,581	3.8	△ 148,181	95.9
3 港湾災害復旧費	600,000	0.6	600,000	0.7	0	100.0
一般会計合計	96,856,391	92.7	87,988,035	96.3	△ 8,868,356	90.8
用地特別会計	41,566	0.0	0	0.0	△ 41,566	0.0
港湾施設整備特別会計	7,590,812	7.3	3,340,015	3.7	△ 4,250,797	44.0
合 計	104,488,769	100.0	91,328,050	100.0	△ 13,160,719	87.4

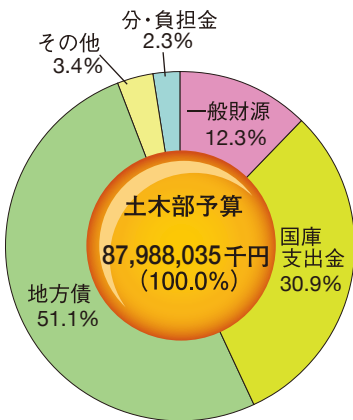


2 令和8年度土木部の予算

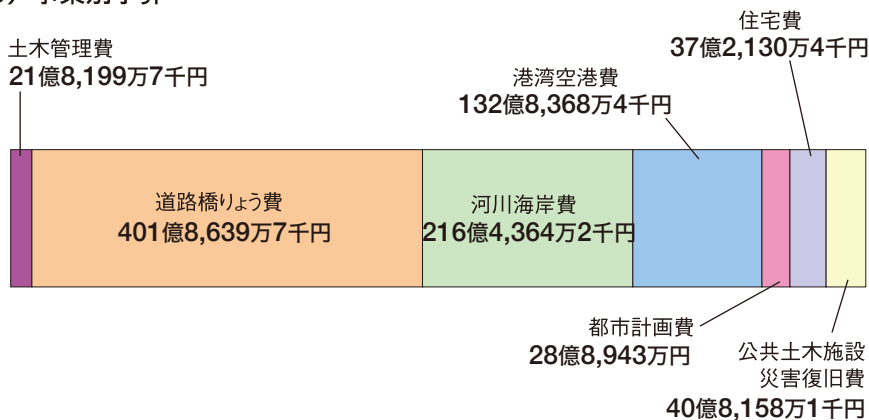
(1) 県予算(一般会計)款別内訳 (2) 土木部予算(一般会計)性質別内訳 (3) 各課別内訳



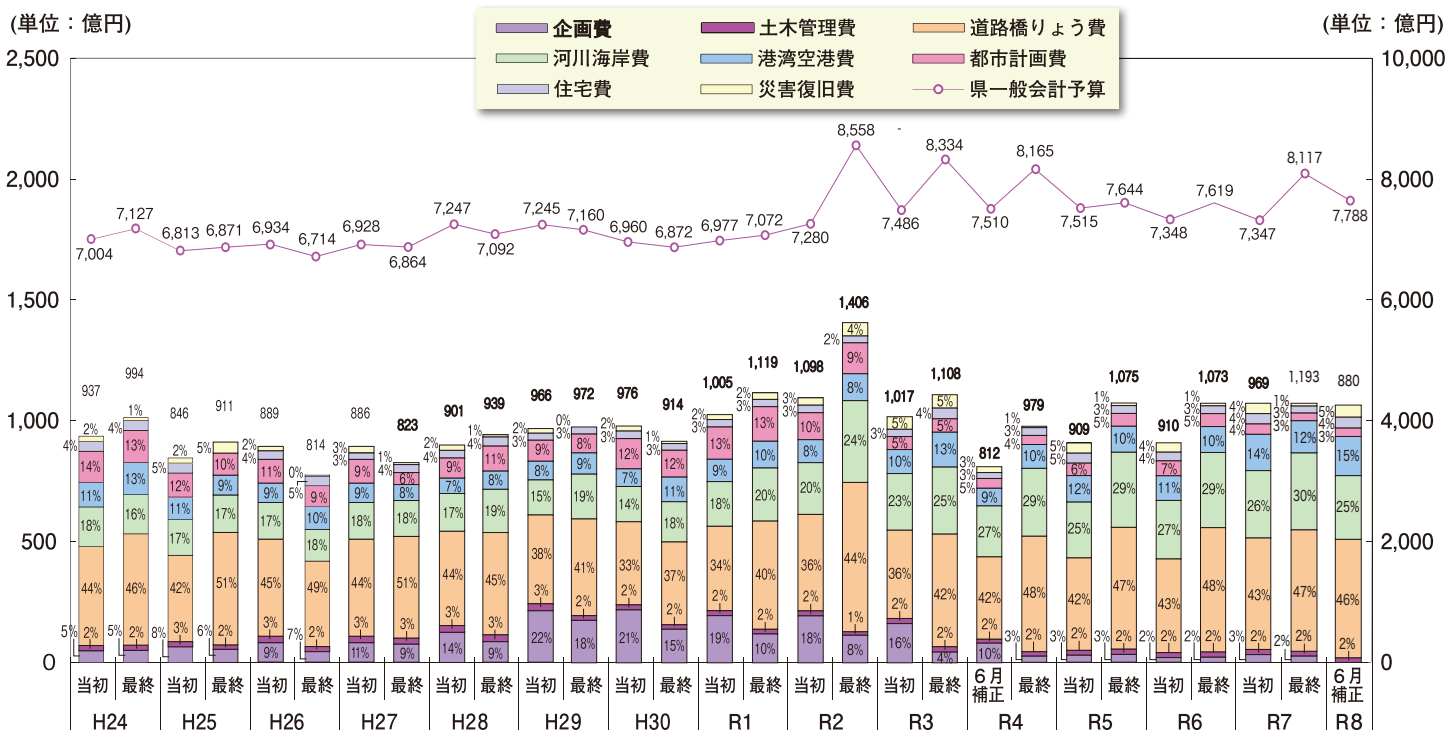
(4) 予算財源内訳



(5) 事業別予算



(6) 土木部当初予算(一般会計)、県予算(一般会計)の推移



4 長崎県の各種事業の整備状況

長崎県の各種事業の整備状況（全国との比較）

項 目	指 標	整備状況			箇所数・延長			摘 要
		長崎県	全国平均	全国比	長崎県	全 国	全国比(%)	
道路(国道・県道)	改 良 率(%)	74.6	78.1	0.955	187路線	13,793路線	1.4	道路統計年報2025(R6.3.31)
	整 備 率(%)	62.4	64.4	0.969				
河 川	整 備 率(%)	57.5	—	—	376河川	21,145河川	1.8	R7年度末
海岸(港湾局所管)	整 備 率(%)	64.2	—	—	217箇所	1,690箇所	12.9	R6年度末(全国箇所数は令和元年度現在)
海岸(水管理・国土保全局所管)	整 備 率(%)	56.6	—	—	287箇所	3,185箇所	9	R6年度末(全国箇所数は令和元年度現在)
地 す べ り	整 備 率(%)	58.7	—	—	189箇所	—	—	R7年度末
急 傾 斜	整 備 率(%)	29.9	—	—	4,157箇所	—	—	R7年度末
土石流危険渓流	整 備 率(%)	17.0	—	—	2,239箇所	—	—	R7年度末
街 路	整 備 率(%)	80.1	68.4	1.171	571km	70,599km	0.8	R6年度末(全国はR5年度末)
都 市 公 園	一人当たり公園面積(㎡/人)	14.1	11.0	1.282	1,220公園	115,737公園	1.1	R6年度末都市公園等整備現況調査
住 宅	公的住宅整備率(%)	5.8	4.4	1.31	—	—	—	R5 住宅・土地統計調査
港 湾	整 備 率(%)	49.5	—	—	103港	993港	10.4	R7年度末(全国箇所数は令和5年度現在)

- 改良率(道路): 車道幅員5.5m以上延長／道路の実延長
- 整備率(道路): 整備済延長／道路の実延長 整備済延長=規格改良済延長+混雑度1.0以上の延長
- 整備率(河川、海岸): 整備(改修) 済延長／整備(改修) が必要な実延長
- 整備率(砂防、地すべり、急傾斜): 対策済箇所数／危険箇所数(要整備箇所)
- 整備率(街路): 整備済延長／都市計画決定延長
- 港湾整備率: 必要な整備が完了した港湾数／全港湾数

耳より情報

長崎県の日本一・世界一(土木部関連)

～長崎県の日本一・世界一 part. 11 (平成20年3月、長崎県広報広聴課作成)より抜粋～

グラバー邸	日本最古	文久3年(1863年)建築されたグラバー邸は、現存する木造洋館としては日本最古
大浦天主堂	日本最古	長崎市南山手町の大浦天主堂は、日本に現存する最古の天主堂。慶応元年(1865年)2月19日落成、献堂設計はジラール、フーレ両フランス人神父、施工は小山秀による(国宝指定)
出 島 橋	日本最古	長崎市の中島川下流に架かる出島橋は明治23年(1890年) に作られ、現役として使用されている鉄橋としては日本最古
高島町端島(軍艦島)の炭坑住宅	日本最古	高島町端島(軍艦島)の炭坑住宅(大正5年(1916年)建設、地上7階、地下1階)は、現存する鉄筋コンクリート造高層アパートとしては日本最古(ただし、現在人は住んでいない)
生月大橋	世界最大	平成3年(1991年)7月完成した生月大橋の中央径間400mは三径間連続トラス橋としては世界最大
オランダ商館	日 本 初	慶長14年(1609年)、平戸市に建設されたオランダ商館は、日本で初めて作られたヨーロッパ様式の建物
興 福 寺	日 本 初	元和9年(1623年)、長崎在留の唐人たちが宗教行事を行う場として創建したのが興福寺の始まりで、日本で最初の唐寺
近代都市計画	日 本 初	万延元年(1860年)11月、大浦埋め立て地に、外国人の設計による地割りが行われ、道路幅、敷地寸法をそろえ、下水路を設けた。整然とした都市計画が横浜よりも一足早く行われた。
アスファルト道路	日 本 初	長崎市のグラバー園内のリンガー邸前の林の中のアプローチは、イギリス人の貿易商トーマス・B・グラバーの息子・倉場富三郎がつくらせた日本初のアスファルト道路。
眼 鏡 橋	日 本 初	寛永11年(1634年)、唐僧黙子如定(もくすによじょう)により架けられた眼鏡橋は、日本初のアーチ構造石橋
鐵 橋	日 本 初	長崎市浜町と築町の間に架かる鐵(くろがね)橋は、明治元年(1868年)8月1日完成した日本最初の鉄橋(現在の橋は改築されたもの)
西 海 橋	日 本 初	佐世保市針尾と西彼杵半島を結ぶ西海橋は、我が国初の上路式プレストアーチ橋(総延長316.26m、中央径間216m)。昭和30年(1955年)10月完成で、我が国初の有料橋。
長崎空港	世 界 初	昭和50年(1975年)5月に開港した長崎空港は、大村湾に浮かぶ箕島(みしま)周辺を造成してつくられた世界初の本格的な海上空港。

長 崎 県 土 木 部

〒850-8570 長崎県長崎市尾上町3番1号 TEL095-824-1111

<https://www.pref.nagasaki.jp/organization/dobokubu/>

※本パンフレット内の事業費等は令和8年7月現在の数値を示しており、今後変更することがあります。

